

# 年間の紙代700万円削減へ

## 訪問介護管理システム自社開発

T.S.I.

社長室  
北山雄三室長

T.S.I.（京都市）は訪問介護管理システム「Care Master」を開発。シフト・ルート表（1日のスタッフの業務工程）の自動作成、スマートフォンからサービス提供記録票の入力などが行える。同社が運営しているサービス付き高齢者向け住宅33棟で試験運用しており、業務の見える化、効率化及び平準化の効果が見られたという。

Care Masterは、ケアプランのサービス提供票を、請求ソフトからCSVファイルでダウンロードし、システムにアップ

利用者に必要なケアを利用者に必要なケアをタスクとして登録。全てのタスク登録後、スタッフの出勤可能な人

数・日時をもとに自動で予定を組み、シフトパターンを作成する。

スタッフは希望シフト・希望休日などをマホやパソコンから電

子申請する。提出された希望シフトとスタッフの出勤可能時間や夜勤の可否などの個別のシフト条件から、AI

がシフトと勤務日ごとにルート表を自動生成

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

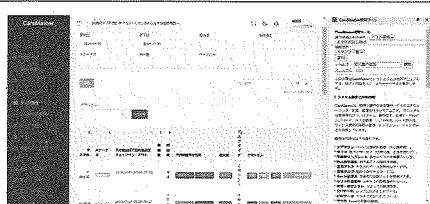
と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

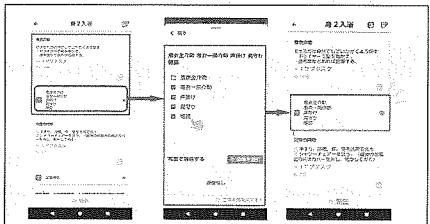
と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご

と調整後、シフトを確定する。ルート表から担当業務の微調整や空き時間がある場合は、ほかの業務を割り当てる。管理者は利用者ご



▲システムイメージ



▲個別のケアができるようになる

書にはケアの実施項目と手順の説明や注意点、目安となる所要時間などを登録可能。

スタッフは出勤後、システムにログインするとその日に行う業務がルート表に表示される。訪問前にルート表上のタスクにチェックされると、手順書とともに登録した利用者ごとのマニュアルや注意点などが表示される。

スタッフは手順書を見ながらケアを行い、報告すべきことがあれば、申し送り事項をシルート表などをペーパー

ア終了後、手順書の報告をもとに、サービス提供記録が作成されると、管理者はサービス

提供記録を見て、利用者の状況に応じて次回に来たスタッフも利用

アをマニュアル化することで他施設から支援

に来たスタッフも利用者の状態に合わせ

れば登録を行う。システム導入を進めている、社長室の北山

雄三室長は「当社は

れども年間約700万円の節約が期待できる」と語る。また、ケ

アをマニュアル化する

ことで他施設から支援

に来たスタッフも利用

アをマニュアル化する

ことで他施設から支援